



# 学校だより 11月号

石川小学校 学校教育目標  
育てます。「石川魂」

令和2年10月30日  
横浜市立石川小学校  
校長 寺園 淳

## 5年生！応援しているよ！

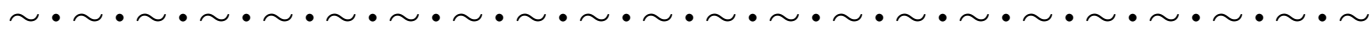
副校長 宮崎 里子

「みんなが笑顔であること、誰一人残さず。」5年生の三浦宿泊体験学習を行うにあたり、事前指導で私が子どもたちに話した言葉です。「みんな」の中には子どもたちだけでなく教員や旅先でお世話になる方すべてが含まれています。

このようなコロナ禍の下、宿泊体験学習を行うことは保護者の皆様には大変なご心配をおかけすることでしたが、子どもたちは真剣に学び、楽しみ、関わり合った1泊2日となりました。

当日までには、自分の思いだけを優先したり、親しい友達とだけで楽しんだりしないで学年全体で交流を深める機会であることを重ねて指導しました。当日の「ウォークラリー」では疲れた友達に励ましの言葉をかけ、「ビーチバレー」ではまだボールを触っていない友達や不得手な友達への配慮があり、「きもだめし」ではこわがって涙を浮かべる友達に寄り添って歩く姿がありました。これらは簡単にできそうで難しい、経験を重ねながら獲得していく、相手を思い、勇気をもって行動していく学校教育目標「協働」の具体の姿です。

出かける前と帰ってきた後の顔つきは全く別人のそれでした。百聞は一見にしかず、目的を明確にした体験学習は子どもたちの成長に必要な学びであったことをお伝えします。今月は4年生の上郷宿泊体験学習を控えており、5年生が4年生に「宿泊学習の心得」を伝授するそうです。こうして「石川魂」は、子どもたちの心に明るく灯っていきます。



### 【沖縄の音楽にふれて】

10月15日（木）、5年生は音楽科「日本の民謡」単元



で、琉球音楽民謡津波流師範の田所敬之先生にお越しいただき、教科書に掲載されている沖縄民謡「谷茶前」を歌ったり、実際に沖縄の楽器である三線を弾いたりする授業を行いました。

田所先生の弾く三線の音色や独特な節回しの歌声に、遠く離れた沖縄の様子に思いを馳せる子どもや、三線の音色に興味深く聞き入る子どもも多く、あっという間の1時間となりました。最後は「喜びも悲しみもかき混ぜる」という意味

の「カチャーシー」を田所先生の演奏で踊って楽しみました。トゥン・ツーヤンさんの感想には「もっと音楽が好きになった」と書いてあります。

学区の平楽中学校では、修学旅行で沖縄を訪ねます。

「本物」に触れた経験が子どもたちの心に響いて、学習意欲の向上や学びの連続につながることを願います。

こうして5年生は来年の最上級生に、そして中学生になる支度をしているところです。大切な時間を心から応援します！

